

2027年度 特色プレゼン入試 評価基準表 テーマ①

神戸国際中学校

テーマ① 身の回りの自然界や社会で起こる出来事で不思議に思ったことと、それについて調べて分かったこと、考えたこと

番号	評価項目	5	4	3	2	1	
①	探究力 (課題発見力・解決力) 知識をまとめるだけでなく、 問題を見つけ考えられているか？	不思議に思ったことを見つけ、深く掘り下げることが出来ている。また、それについて考えたことが論理的に説得力を持って伝えられていた。	不思議に思ったことを見つけ、掘り下げることが出来ている。また、それについて考えたことが論理的に伝えられていた。	不思議に思ったことを見つけ、掘り下げることが出来ているが、それについて考えたことはあまり伝わって来なかった。	不思議に思ったことを見つけ、掘り下げることがあまり出来ていないが、それについて考えたことは伝わって来た。	不思議に思ったことを見つけ、掘り下げることが出来ていない。また、それについて考えたことも伝わって来なかった。	20
②	創造力 (資料・図表) 他者が理解しやすいように工夫しているか？	プレゼン資料を視覚的に分かりやすくするため、概念や数値に関するものを図表化しており、とても分かりやすく、プレゼン内容を効果的に補強している。	プレゼン資料を視覚的に分かりやすくするため、概念や数値に関するものを図表化しており、見やすい。	プレゼン資料を視覚的に分かりやすくするため、概念や数値に関するものを図表化している。	図表化したものはあるが、プレゼン内容を効果的に補強していない。	資料・図表を使用していない。	20
③	表現力 表情・目線・動作が適切であるか？	豊かな表情で、聞き手とアイコンタクトを保ち、手元の資料を見ないで分かりやすく伝えている。	豊かな表情で、聞き手とアイコンタクトを保ち、ときおり手元の資料を見ながらであるが、分かりやすく伝えている。	ときおりではあるが聞き手とアイコンタクトをとり、手元の資料を見ながらであるが説明している。	時々聞き手とアイコンタクトをとっているが、ほとんど資料を読んでいる。	資料を読んでいるだけでアイコンタクトはできていない。	20
④	伝達力 声の大きさが適当で 表現・伝達する力があるか？	身振り手振りも自然で表現力が高い。明瞭な声と口調、適切な声量で、相手にはっきりと伝わる。	明瞭な声と口調、適切な声量で、相手に伝える力は持っている。	明瞭な声と声量で、相手に伝える力は普通である。	時々、声が聞きとりにくく、相手に伝わりにくい。	声が聞きとりにくく、相手に伝わりにくい。	20
⑤	準備力 (発表時間)	準備をしてきた成果が十分に発揮され、指定された時間通りの発表であり、内容を効果的に伝えるための時間配分にも十分な配慮がされている。	準備をしてきた成果が十分に発揮され、指定された時間通りの発表である。	準備をしてきた成果が発揮され、概ね指定された時間通りの発表である。	準備がやや足りておらず、指定された発表時間とは少し離れている。	準備が不十分であり、指定された発表時間通りではない。	20

【特色プレゼン入試の評価方法について】

※評価点について ①「国語または算数」(100点) ②「プレゼンと面接の評価」(150点) ③「小学校の成績」(50点) **合計300点**

※テスト時間について ①「プレゼン」(3分)＋「質疑応答」 ②「国語または算数」(50分)

※受験生にこの評価基準については、公開する。

2027年度 特色プレゼン入試 評価基準表 テーマ②

神戸国際中学校

テーマ② 興味のある国と日本との違いと、それについて調べて分かったこと、考えたこと

番号	評価項目	5	4	3	2	1	
①	探究力 (課題発見力・解決力) 知識をまとめるだけでなく、 問題を見つけ考えられているか？	日本との違いを見つけ、深く掘り下げることが出来ている。また、それについて考えたことが論理的に説得力を持って伝えられている。	日本との違いを見つけ、掘り下げることが出来ている。また、それについて考えたことが論理的に伝えられていた。	日本との違いを見つけ、掘り下げることが出来ているが、それについて考えたことはあまり伝わって来なかった。	日本との違いを見つけ、掘り下げることがあまり出来ていないが、それについて考えたことは伝わって来た。	日本との違いを見つけ、掘り下げることが出来ていない。また、それについて考えたことも伝わって来なかった。	20
②	創造力 (資料・図表) 他者が理解しやすいように工夫しているか？	プレゼン資料を視覚的に分かりやすくするため、概念や数値に関するものを図表化しており、とても分かりやすく、プレゼン内容を効果的に補強している。	プレゼン資料を視覚的に分かりやすくするため、概念や数値に関するものを図表化しており、見やすい。	プレゼン資料を視覚的に分かりやすくするため、概念や数値に関するものを図表化している。	図表化したものはあるが、プレゼン内容を効果的に補強していない。	資料・図表を使用していない。	20
③	表現力 表情・目線・動作が適切であるか？	豊かな表情で、聞き手とアイコンタクトを保ち、手元の資料を見ないで分かりやすく伝えている。	豊かな表情で、聞き手とアイコンタクトを保ち、ときおり手元の資料を見ながらであるが、分かりやすく伝えている。	ときおりではあるが聞き手とアイコンタクトをとり、手元の資料を見ながらであるが説明している。	時々聞き手とアイコンタクトをとっているが、ほとんど資料を読んでいる。	資料を読んでいるだけでアイコンタクトはできていない。	20
④	伝達力 声の大きさが適当で 表現・伝達する力があるか？	身振り手振りも自然で表現力が高い。明瞭な声と口調、適切な声量で、相手にはっきりと伝わる。	明瞭な声と口調、適切な声量で、相手に伝える力は持っている。	明瞭な声と声量で、相手に伝える力は普通である。	時々、声が聞きとりにくく、相手に伝わりにくい。	声が聞きとりにくく、相手に伝わりにくい。	20
⑤	準備力 (発表時間)	準備をしてきた成果が十分に発揮され、指定された時間通りの発表であり、内容を効果的に伝えるための時間配分にも十分な配慮がされている。	準備をしてきた成果が十分に発揮され、指定された時間通りの発表である。	準備をしてきた成果が発揮され、概ね指定された時間通りの発表である。	準備がやや足りておらず、指定された発表時間とは少し離れている。	準備が不十分であり、指定された発表時間通りではない。	20

【特色プレゼン入試の評価方法について】

※評価点について ①「国語または算数」(100点) ②「プレゼンと面接の評価」(150点) ③「小学校の成績」(50点) **合計300点**

※テスト時間について ①「プレゼン」(3分)＋「質疑応答」 ②「国語または算数」(50分)

※受験生にこの評価基準については、公開する。

2027年度 特色プレゼン入試 評価基準表 テーマ③

神戸国際中学校

テーマ③ 他の人にも読んでもらいたいと思う本の紹介と、その本を選んだ理由

番号	評価項目	5	4	3	2	1	
①	訴求力 語彙力・文章力を発揮し、 読んでみたいと思わせるか？	その本を選んだ理由やその本を他人に読んでもらいたいという気持ちが十分伝わりその本を読んでみたくなった。	その本を選んだ理由やその本を他人に読んでもらいたいという気持ちが伝わった。	その本を他人に読んでもらいたいという気持ちは十分であるが、その本を選んだ理由はあまり伝わってこなかった。	その本を選んだ理由は十分であるが、他人に読んでもらいたいという気持ちはあまり伝わってこなかった。	その本を他人に読んでもらいたいという気持ちと、その本を選んだ理由のどちらも伝わってこなかった。	20
②	創造力 (資料・図・表・絵) 他者に理解しやすいように工夫しているか？	プレゼン資料を視覚的に分かりやすくするため、図・表・絵等が挿入されており、とても分かりやすく、プレゼン内容を効果的に補強している。	プレゼン資料を視覚的に分かりやすくするため、図・表・絵等が挿入されており、見やすい。	プレゼン資料を視覚的に分かりやすくするため、図・表・絵等が挿入されている。	図表化したものはあるが、プレゼン内容を効果的に補強していない。	図・表・絵等を使用していない。	20
③	表現力 表情・目線・動作が適切であるか？	豊かな表情で、聞き手とアイコンタクトを保ち、手元の資料を見ないで分かりやすく伝えている。	豊かな表情で、聞き手とアイコンタクトを保ち、ときおり手元の資料を見ながらであるが、分かりやすく伝えている。	ときおりではあるが聞き手とアイコンタクトを取り、手元の資料を見ながらであるが説明している。	時々聞き手とアイコンタクトをとっているが、ほとんど資料を読んでいる。	資料を読んでいるだけでアイコンタクトはできていない。	20
④	伝達力 声の大きさが適当で表現・伝達する力があるか？	身振り手振りも自然で表現力が高い。明瞭な声と口調、適切な声量で、相手にはっきりと伝わる。	明瞭な声と口調、適切な声量で、相手に伝える力は持っている。	明瞭な声と声量で、相手に伝える力は普通である。	時々、声が聞きとりにくく、相手に伝わりにくい。	声が聞きとりにくく、相手に伝わりにくい。	20
⑤	準備力 (発表時間)	準備をしてきた成果が十分に発揮され、指定された時間通りの発表であり、内容を効果的に伝えるための時間配分にも十分な配慮がされている。	準備をしてきた成果が十分に発揮され、指定された時間通りの発表である。	準備をしてきた成果が発揮され、概ね指定された時間通りの発表である。	準備がやや足りておらず、指定された発表時間とは少し離れている。	準備が不十分であり、指定された発表時間通りではない。	20

【特色プレゼン入試の評価方法について】

※評価点について ①「国語または算数」(100点) ②「プレゼンと面接の評価」(150点) ③「小学校の成績」(50点) **合計300点**

※テスト時間について ①「プレゼン」(3分)+「質疑応答」 ②「国語または算数」(50分)

※受験生にこの評価基準については、公開する。